

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
キタテハ	タテハチョウ科	最も代表的なタテハ	○	○	○	本州以南



多摩川 中野島 8月31日 (2014年) ノビルで吸蜜

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年		越冬形態			
カナムグラ、ホソバイラクサほか						3~5		成虫			

年中飛んでる印象を受ける代表的なタテハで、多摩川の土手~河川敷でも見る機会が多い蝶です。羽の外縁部のギザギザの形態はタテハチョウ科によく見られものです。

山地性でこのキタテハによく似たエルタテハ、シータテハというタテハが2種います。

エルとシーはそれぞれ「L」と「C」、後羽の裏側中央付近に小さな文字状の白っぽい模様がありそれが「LとC」だということなのですが(キタテハにもLともCとも取れるような模様はある)、もう少しまともな名前がつけられなかったのか思うのは私だけではないでしょう。



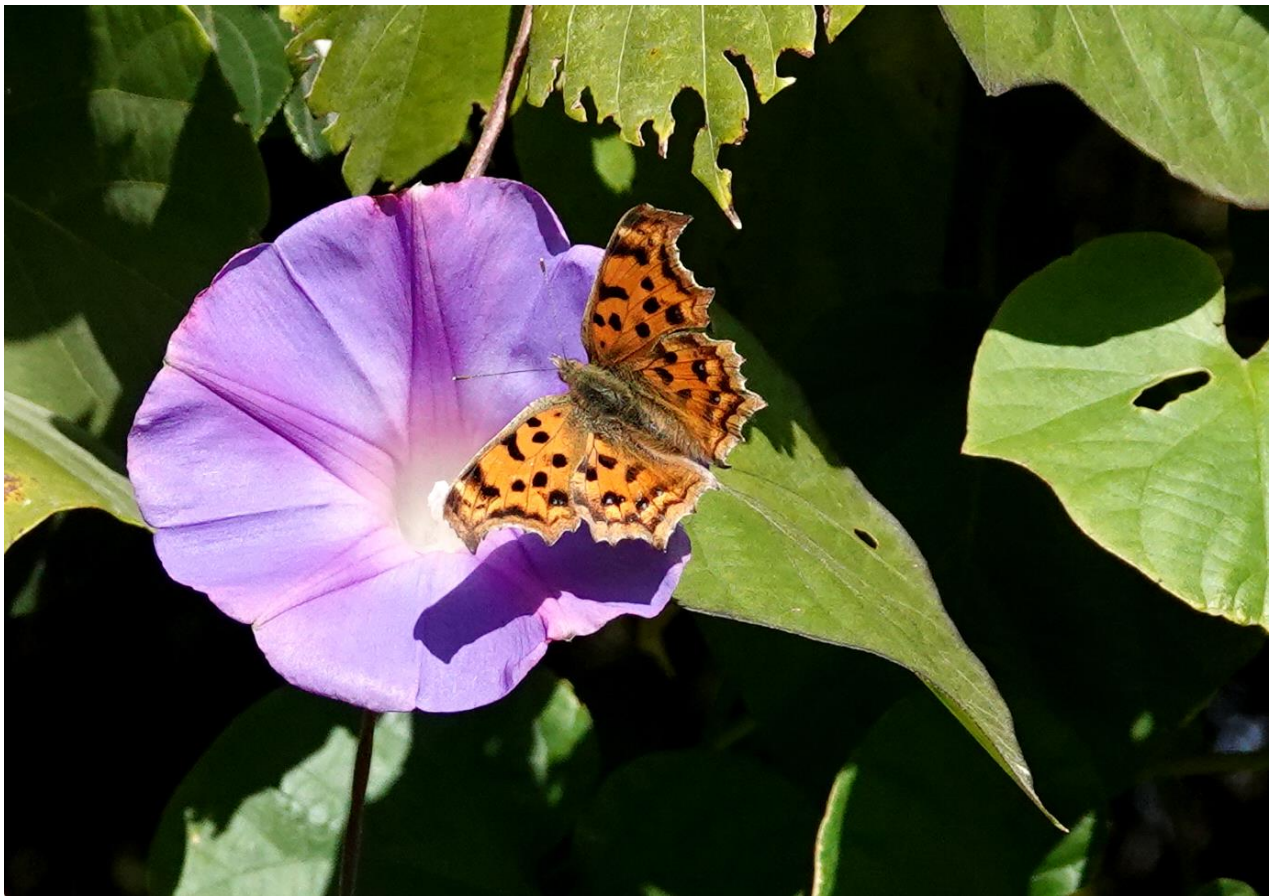
川崎市 7月17日 (2017年)  
後羽裏側中央部に白っぽい模様あり



エルタテハ 長野県南佐久郡 8月2日 (2003年)  
「L」の字は後羽裏側中央部。羽の表は同じタテハ  
チョウ科のヒオドシチョウにも似ている



シータテハ 長野県南佐久郡 7月24日 (2019年)  
「C」の字は後羽裏側中央部。羽の表はエルタテハ  
と同様のヒオドシチョウにも似ている



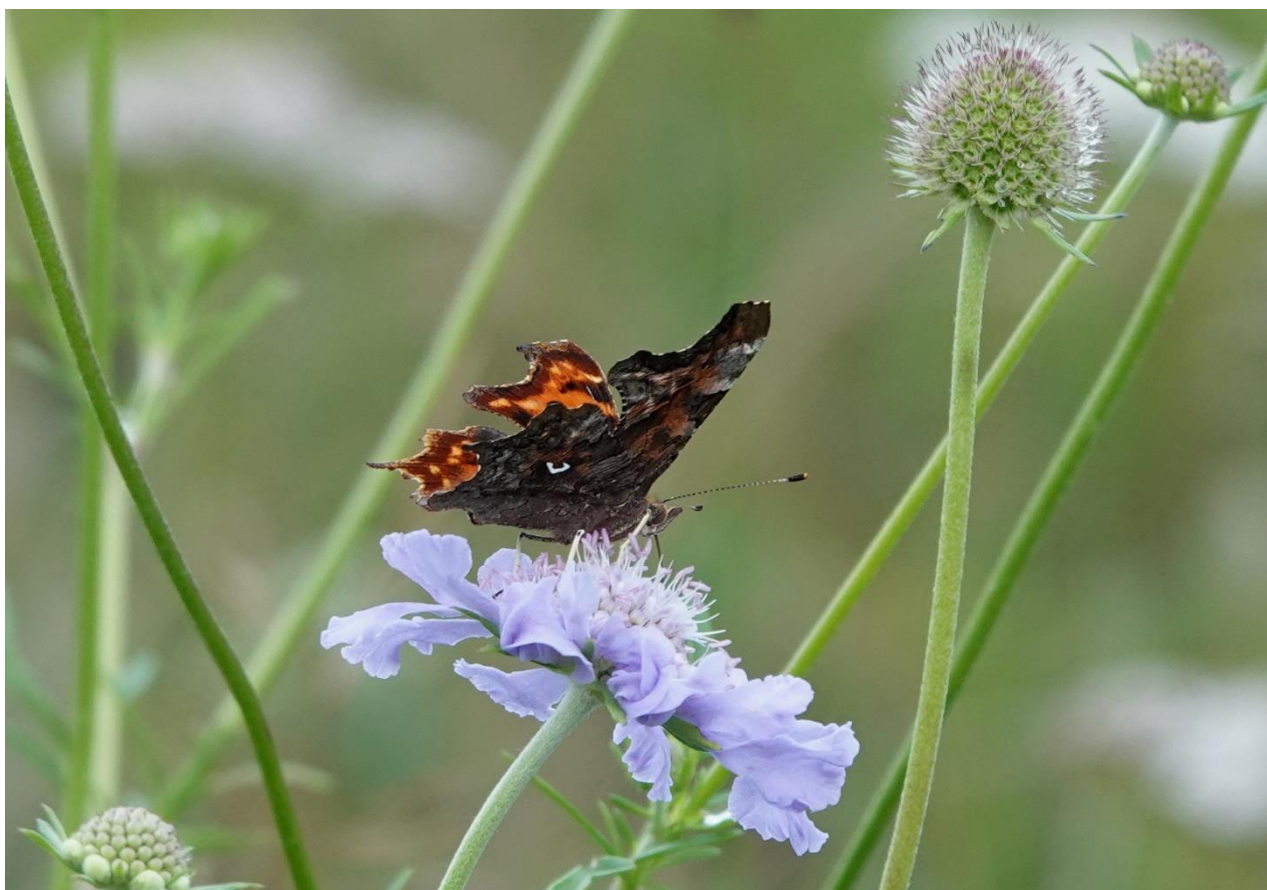
多摩川土手（久地） 11月17日（2022年） リュウキュウアサガオに飛来



多摩川土手（久地） 10月23日（2022年） アキノキリンソウで吸蜜



シータテハ 長野県諏訪郡 8月24日 (2020年)



シータテハ 長野県諏訪郡 8月25日 (2023年) マツムシソウで吸蜜